令和５年度　年間学習指導計画案

科目	精神看護	単位数	２単位	学年・学科・コース	２年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門１３　精神看護 （メヂカルフレンド社）			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、精神看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・精神看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・精神看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・精神看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の心身の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
精神に障害等がある人と家族の苦悩について、事例などを通し学習することによって、共感的に理解するとともに、精神障害の予防や早期回復、セルフケア、社会復帰等に関する知識や技術を身に付け、看護の意義や役割を理解している。	精神に障害等がある人の具体例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえ、人権の擁護や地域生活支援の制度の活用と生活の自立、セルフケアを目指す視点からの援助を考察するとともに、実施する援助とその根拠を明確にして課題を解決する能力を身に付けている。	精神に障害等がある人の健康課題の解決に当たっては、社会生活への参加と自立、生活の質の向上を目指し、主体的かつ協働的な態度を身に付けている。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	精神障害の状況に応じた看護	・検査 ・治療 ・急性期 ・慢性期	○			・精神医療における主な検査である心理検査・生理検査（脳波、髄液、磁気、X線）及び治療と看護を理解できる。	定期考査 授業態度 発問評価 小テスト 提出物
				○		・精神障害の状況に応じた多様な課題を発見し、当事者の権利を擁護した上で、回復の促進並びに自立支援を目指して解決策を見いだせる。	
					○	・精神障害の状況に応じた看護について自ら学び、当事者の多様な価値観等を尊重した上で、医療チームの一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
5	精神の健康と看護	・精神の健康 ・精神機能の構造と発達 ・ストレスと危機 ・精神保健の動向 ・精神看護の特徴	○			・精神の健康と看護について理解できる。	
				○		・精神の健康と看護に関わる多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだせる。	
					○	・精神の健康と看護について自ら学び、人々の心身の健康保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
6	主な精神障害と看護	・症状性を含む器質性精神障害 ・精神作用物質による精神および行動の障害 ・統合失調症 ・気分障害 ・神経症性障害、ストレス関連障害 ・生理的障害、身体的要因に関連した行動症候群 ・成人の人格及び行動の障害 ・小児・青年期の精神及び心身医学的疾患	○			・主な精神疾患と看護について理解し、関連する技術を身に付けることができる。	
				○		・主な精神疾患に応じた多様な課題を発見し、当事者の権利を擁護した上で、安全・安楽を守り、症状の緩和並びに生活の質の改善に向けて解決策を見いだせる。	
7					○	・主な精神疾患と看護について自ら学び、当事者の多様な価値観を尊重した上で、医療チームの一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8	精神保健医療福祉の変遷	・精神医療の歴史 ・精神に障害のある人の権利擁護 ・精神保健福祉制度の変遷	○			・社会の変化とともに変わってきた精神医療や関連する制度の概要について理解できる。	
				○		・精神医療や関連する制度の実際について基本的な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだせる。	
					○	・精神に障害等がある人の権利を擁護し、地域で自立した生活を目指す看護について意欲的に学習しようとする。	
2	総演習	・主な精神障害と看護 ・精神障害の状況に応じた看護	○			・主な精神疾患と看護について理解し、関連する技術を身に付けることができる。	授業態度 発問評価 小テスト 提出物
				○		・主な精神疾患に応じた多様な課題を発見し、当事者の権利を擁護した上で、安全・安楽を守り、症状の緩和並びに生活の質の改善に向けて解決策を見いだせる。	
					○	・主な精神疾患と看護について自ら学び、当事者の多様な価値観を尊重した上で、医療チームの一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	